

第 17 回クリーンセンター連絡協議会 要点録

【日 時】令和 6 年 7 月 10 日(水) 午後 6 時 29 分～8 時 3 分

【場 所】プラスチック類資源化施設 多目的室

【出席者】

会 長：新石自治会

委 員：新石自治会 2 名 新井自治会 1 名 落川上自治会 2 名
百草園団地自治会 1 名 百草園自治会 2 名

事務局：日野市 5 名（環境共生部長兼環境共生部クリーンセンター長、環境共生部主幹、施設課長、ごみゼロ推進課長、ごみゼロ推進課係長）

国分寺市 2 名（建設環境部長、環境対策課長）

小金井市 1 名（環境部長）

浅川清流環境組合 5 名（事務局長、事業課長、事業課事業係長、総務課長、総務課主幹兼総務係長）

【傍聴者】 1 名

【配付資料】

- ・次第 「第 17 回クリーンセンター連絡協議会 次第」
- ・資料 1 「プラスチック類資源化施設運転状況」
- ・資料 2 「北川原公園ごみ搬入路に関する違法状態解消に向けた取り組み状況」
- ・資料 3 「令和 4 年度全国ごみ量ランキング」
- ・資料 4 「可燃ごみ処理施設運転状況」
- ・資料 5 「環境定点測定結果（令和 5 年度 冬季）」
- ・資料 6 「可燃ごみ処理施設専門家委員会」
- ・資料 7 「水銀測定値が公害防止基準値を一時的に超過した件について」
- ・資料 8 「次期可燃ごみ処理施設建設に向けた課題等の整理について」
- ・資料 9 「令和 5 年度施設見学実績について」
- ・資料 10 「令和 5 年度水銀回収キャンペーン第 2 弾の実績について」

【次 第】

1 開会

2 議事

(1) 日野市より

①プラスチック類資源化施設運転状況

<説明内容>

日野市より資料 1 に基づき説明を行った。

<質疑・応答>

(委員) : プラごみの分別に非常に手間が掛かる。手間が掛かる割に、最終的にはお金を払って処分していると聞くが、もっと簡単にできないか。例えば燃えるごみに入れて良いとすれば、数万世帯の市民の負担軽減に繋がる。

また、リサイクルをするのにお金を払っているという点も釈然としない。

(日野市) : プラスチックは世界的な問題となっており、日本でも令和4年に新しい法律ができて、極力リサイクルすることとなったため、手間暇が掛かるがご協力をお願いしたい。なるべくプラスチックの使用量を減らしていくことが大切と考えている。

(委員) : 数値的な説明をお願いします。

(日野市) : プラマークが付いているものについては、製造・販売業者がリサイクル費用の99%を負担している。(残りの1%及び収集・選別の費用(1~2億円程度)は市が負担)

プラスチック製品についてのリサイクル費用は全額自治体負担となっており、年間2,000万程度掛かっている。こちらは業界で負担、もしくは国で補助ができないか等、自治体全体で働き掛けを行っている。

(委員) : ベールをどこに持って行って、引き取ってもらっているのか説明をお願いします。

(日野市) : ベールは容器包装リサイクル協会に引き渡している。協会は年1回入札を行い、その入札において、日野市はどの業者にベールを引き渡すかが決定する。今年度は千葉県にあるリパレットというパレットの製造業者に決定しており、業者が毎日、日野市に引き取りに来ている。

(委員) : リサイクルに手間ばかり掛かっていると思われがちだが、リサイクルされたものはちゃんと製品に生まれ変わっているということをもっと強調してほしい。

②北川原公園ごみ搬入路に関する違法状態解消に向けた取り組み状況

<説明内容>

日野市より資料2に基づき説明を行った。

<質疑・応答>

(委員) : 搬入部分の都市計画の変更だけで違法性が解消されるのか。

(日野市) : 1案、2案共、都市計画の変更が必要であり、都市計画変更をすることで違法性は解消されると認識している。

(委員) : 時間とお金を掛けてわざわざ余計な工事をせずとも、現状のまま都市計画変更をすれば違法性が解消されるのではないのか。

(日野市) : 今まで検討会等で様々なご意見をいただき、地元の方々からは現状のままが良いのではないかとのご意見をいただき、都市計画変更以外手を付けない2案と、その他の実現性が高い案が無いかと検討会の中で1案というものが出てきたところである。

まずは北川原公園周辺地域の皆様のご意見を伺いたいということで、今回の意見交換会が設定された。いただいたご意見を元に、最終的にどちらの案が良いか判断していきたいと検討会の中では考えているところです。

(委員)：現状のままで良いのであれば、最高裁の判決は何だったのか。

(日野市)：最高裁の判決は、都市計画公園に指定している所に、暫定とはいえ都市計画を変更しないまま搬入路を設置したことは違法であるという判決であった。

(委員)：作る前に都市計画変更の知識がある人から意見をもらえればこのような事態にはならなかったのではないか。

(日野市)：これまで大変ご迷惑をお掛けしたことについてお詫び申し上げます。

(委員)：1案だと高架下と南側の通路部分が新たに公園として利用できる形となるので、個人的にはこちらが妥当だと思う。

(委員)：1案だと収集車のルートが変更となり、今まで市内を通行していなかった国分寺・小金井の収集車が、新たに市内を通行することとなる。新石自治会は可燃ごみ処理施設建設の際に、自分たちの地域に国分寺・小金井の収集車が通行しないことを条件に、建設を認めたという経過があるため、新石自治会としては反対である。

③令和4年度全国ごみ量ランキング

<説明内容>

日野市より資料3に基づき説明を行った。

<質疑・応答>

(委員)：住民として、市からごみを減らすためにこうしてくれという指示を受けたことは無いが、今後そのような指導の予定はあるのか。

(日野市)：日野市は平成12年10月に全国に先駆けてごみの有料化を実施した。また、情報誌(エコー)やごみ減量のアプリの導入等、毎年新たな施策をご提案させていただきごみ減量にご協力いただいている。今回のランキング結果を元に新たに何かをするということではなく、今あることを粛々とお願いしていくという形である。

(委員)：有料化したからごみ量が減ったという形にはしないでほしい。有料化したことで市民の意識が高まり、ごみ減量に繋がったということである。

(2) 浅川清流環境組合より

①可燃ごみ処理施設運転状況について

<説明内容>

浅川清流環境組合より資料4に基づき説明を行った。

<質疑・応答>

なし。

②環境定点測定結果

<説明内容>

浅川清流環境組合より資料5に基づき説明を行った。

<質疑・応答>

なし。

③可燃ごみ処理施設専門家委員会について

<説明内容>

浅川清流環境組合より資料6に基づき説明を行った。

<質疑・応答>

なし。

④水銀測定値が公害防止基準値を一時的に超過した件について

<説明内容>

浅川清流環境組合より資料7に基づき説明を行った。

<質疑・応答>

(委員)：水銀回収キャンペーンの詳細と、どのような方法で市民に周知しているかを知りたい。

(日野市)：7月1日から令和7年3月31日まで市内18か所の拠点で回収するということがHPには掲載しているが、広報ひのは紙面の都合により8/1号に掲載する。

(委員)：令和5年度の実績を知りたい。

(日野市)：後ほど資料10でも説明させていただくが、令和5年度は水銀測定値が公害防止基準値を超えた事象が計6回起きたことから、令和5年9月から12月及び令和6年2月から3月の計6か月間キャンペーンを実施した。

(委員)： $225\mu\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ というのは、体温計何本分程度の水銀が燃えたときに出るものなのか。

(組合)：以前、循環組合から聞いた話だと、場合によっては体温計1本でもこのくらいの数値が出ることはあると聞いている。元々の情報でも2～3本で公害防止基準値を十分超えてしまうという想定がされていたので、一概に何本とは言えない。

(委員)：ごみに入っている水銀を見つけることは難しいので、専門家委員の方達に、よりよい水銀の吸着方法を考えてもらったほうが良いのではないか。

(委員)：水銀測定器を導入した成果の説明を求める。

(組合)：構成3市と浅川清流環境組合、それぞれで水銀測定器を購入した。組合においてはプラットホームで抜き打ちの水銀測定検査を実施してい

るところである。5月から実施しており、基本的に事業系ごみに対し検査を行っている。

構成市が行っている展開検査の際に併せて水銀の測定も実施している。これまで9回実施したが、水銀は検出されなかった。

また先程話のあった、水銀が入った際の対応策の一つとして、活性炭の使用量を、今までは0.44 kg/1時間だったものを、1.0 kg/1時間へ増量した。

(委員)：活性炭の増量について説明を求める。

(組合)：焼却炉の後に測定装置がついており、水銀が10 μg/m³Nを超えると自動で0.44 kg/1時間の活性炭が最大3.0 kg/1時間まで増量される。当組合の施設は最大で3.6 kg/1時間まで活性炭を吹くことは可能だが、3.0 kg以上は手動操作が必要となる。活性炭に吸着させた水銀はろ布と呼ばれるフィルタで回収し、水銀が外部に飛散しないようにしている。今回、常時0.44 kg/1時間だったものを、1.0 kg/1時間へ増量したのは、水銀を感知してから自動で活性炭が増量されるまでのタイムラグを無くし、少しでも多くの水銀を吸着させるためである。

3 その他

①次期可燃ごみ処理施設建設に向けた課題等の整理について

<説明内容>

小金井市より資料8に基づき説明を行うとともに、各市よりごみ減量に向けた取組みについて説明を行った。

<質疑・応答>

(委員)：寝具の再生率向上への取り組みをしているとのことだが、最近はリサイクルが難しい製品が増えていると思うが、現状、製造・販売業者はリサイクル料を負担しておらず税金で処理されていると思うが、三市協働、または都も巻き込んで製造・販売業者への責任を求める働き掛けをしてほしい。

②令和5年度施設見学実績について

<説明内容>

日野市より資料9に基づき説明を行った。

<質疑・応答>

なし

③令和5年度水銀回収キャンペーン第2弾の実績について

<説明内容>

日野市より資料10に基づき説明を行った。

<質疑・応答>

(委員)：水銀回収キャンペーンは、広報ひので周知されているのか。

(日野市)：令和5年度については、実施前に広報紙に掲載したところだが、令和6年度については、どうしても紙面の都合がつかなかったため、8/1号に掲載をさせていただく。

(委員)：本日資料として配付された回収実績等を踏まえ、広報の記事を作成したほうが良い。

4 閉会

次回会議（予定） 令和7年2月15日（土） 午前10時00分～
プラスチック類資源化施設 多目的室

以上